

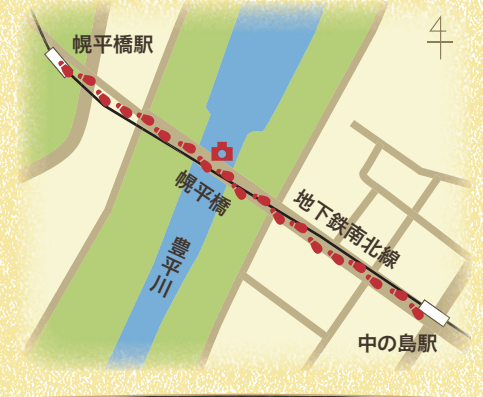


## ブラサトルと巡る! さっぽろ歴史旅

文化財や過去の面影が残る場所をブラサトルこと和田 哲さんと巡り、札幌の歴史や成り立ちを紹介します。

【第6回】  
ほろひらぼし  
幌平橋

MAP



詳細 広報課 ☎211-2036

### 生活を豊かにした 「架け橋」

大正時代、中島公園と中の島地区は向かい合っているにもかかわらず、川を船で渡るか遠回りをして豊平橋を渡らなければ行き来できませんでした。

そこで、北海道会（現在の北海道議会）議員の河合才一郎氏が昭和2（1927）年に、多額の私費を投じて橋を架けました。「その結果、地域住民の生活は便利になり、周辺一帯が発展しました」という和田さんのお話の通り、幌平橋は今も市民の生活に欠かせない橋となっています。

和田 哲さん(通称:ブラサトル)

札幌市出身。広告代理店や出版社勤務を経て、札幌や北海道の歴史と地理を解説する街歩き研究家として独立。講演やテレビ・ラジオ出演などのほか、YouTubeで動画を配信中。



特徴的なアーチ。この上は階段となっており、上ることができます



▲3度目の建設中の幌平橋（1953年撮影。札幌市公文書館所蔵）



▲アーチの上から見た豊平川。サケの遡上のための「魚道」が見えます

### 何度も修復しながら 守られている橋

建設当初は木造だったため、老朽化が激しく、わずか10年ほどで解体されてしまいました。しかし、周辺地域の活性化によって橋の必要性を感じた北海道庁が2代目の橋をかけ、その後も老朽化や交通量の増加に対応するために何度も橋は架け直されました。「現在の橋は平成6（1994）年に完成したものです。橋の上にあるアーチは階段となっていて上ることができ、豊平川の「魚道」を眺めることができます。また、橋の上の広場は米国のポートルランド市の姉妹都市提携35周年を記念して造られたもので、市民の憩いの場になっています。ポートルランド市にまつわるモニュメントやパネルを見ることがもできますよ」と和田さん。

幌平橋周辺は今も昔も市民が集まる場所として愛されており、「川見」など幌平橋の川辺を楽しむイベントも行われています。